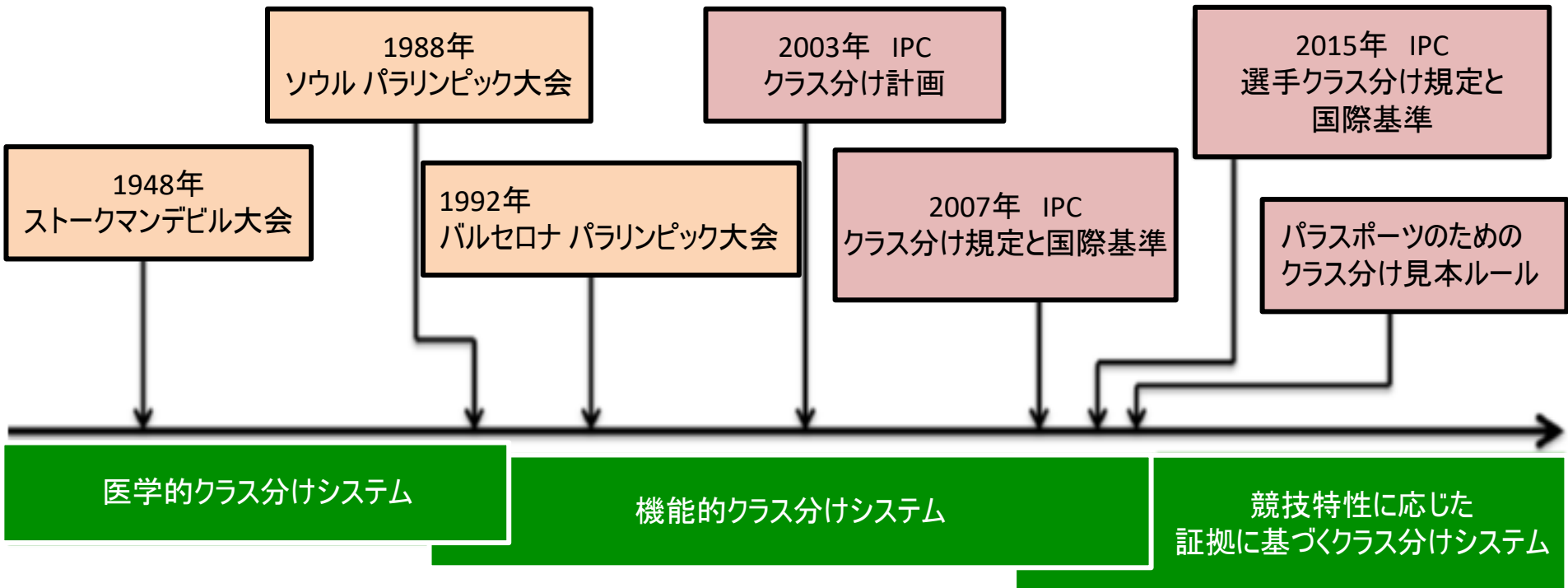


パラカヌー における 選手クラス分け手順



Maria de Fatima Fernandes Vara
ICF(国際カヌー連盟)
クラス分け委員長

歴史

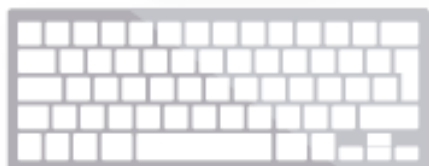


パラカヌー における 選手クラス分け手順

● IPC(国際パラリンピック委員会)の“Introduction to Para Sport”というオンラインプログラムはIPCについてやパラリンピックムーブメントについて、そしてクラス分けの重要性について詳しく知りたい方々に開放しています。あなたは選手、コーチ、技術関係者、スポーツに関する医療従事者、イベント主催者、あるいは一般のただパラリンピックスポーツやパラリンピック大会に興味があり、知識を試したいサポーターかもしれません。



www.ipc-academy.org



IPCが規定する10の出場資格がある障がい

- 筋力低下
- 関節可動域制限
- 四肢欠損

- 脚長差
- 小人症
- 筋緊張亢進
- 運動失調
- アトーゼ
- 視覚障がい
- 知的障がい

パラカヌーに出場
資格がある障がい
(体幹と下肢のみ)

1

以下の3つの出場資格がある障がい(その障がいは永続的でありまず基本的な健康状態は保たれている)のうちの一つか(あるいはそれ以上)の証拠を分析する

- 筋力低下
- 関節可動域制限
- 四肢欠損

2

障がいの最小基準を確認するための評価

3

3つのテスト(以下に詳述するように各種目ごとにある)の結果によって、選手は一つのクラスに割り当てられる

Kayak

MIC
障がいの最小基準

はいの場合、具体的な
テストを実施する

選手は片脚で4ポイント以上
の減点でなければならない

いいえの場合、最小の基準を
満たさずクラス分けは終了

各テストにはクラスターを決めるスコアが存在

下肢

スコア: 0-28

クラスター1(0-2ポイント)
クラスター2(3-17ポイント)
クラスター3(18-24ポイント)

25ポイント以上の場合、彼/彼女は
パラカヌーの対象外となる

体幹

スコア: 0-84

クラスター1(0-16ポイント)
クラスター2(17-68ポイント)
クラスター3(69-84ポイント)

水上観察

スコア: 0-12

クラスター1(0-3ポイント)
クラスター2(4-8ポイント)
クラスター3(9-12ポイント)



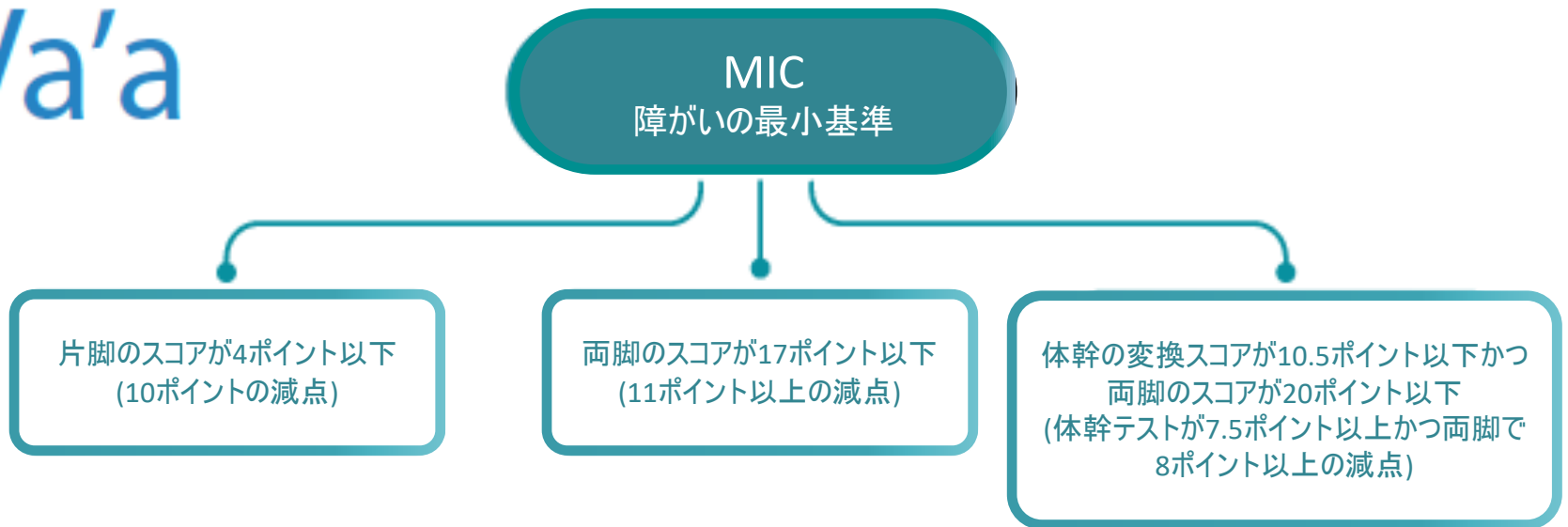
ICFクラス分けシステム入門トレーニング | LEVEL 1

International Canoe Federation -

PARACANOE

Kayak



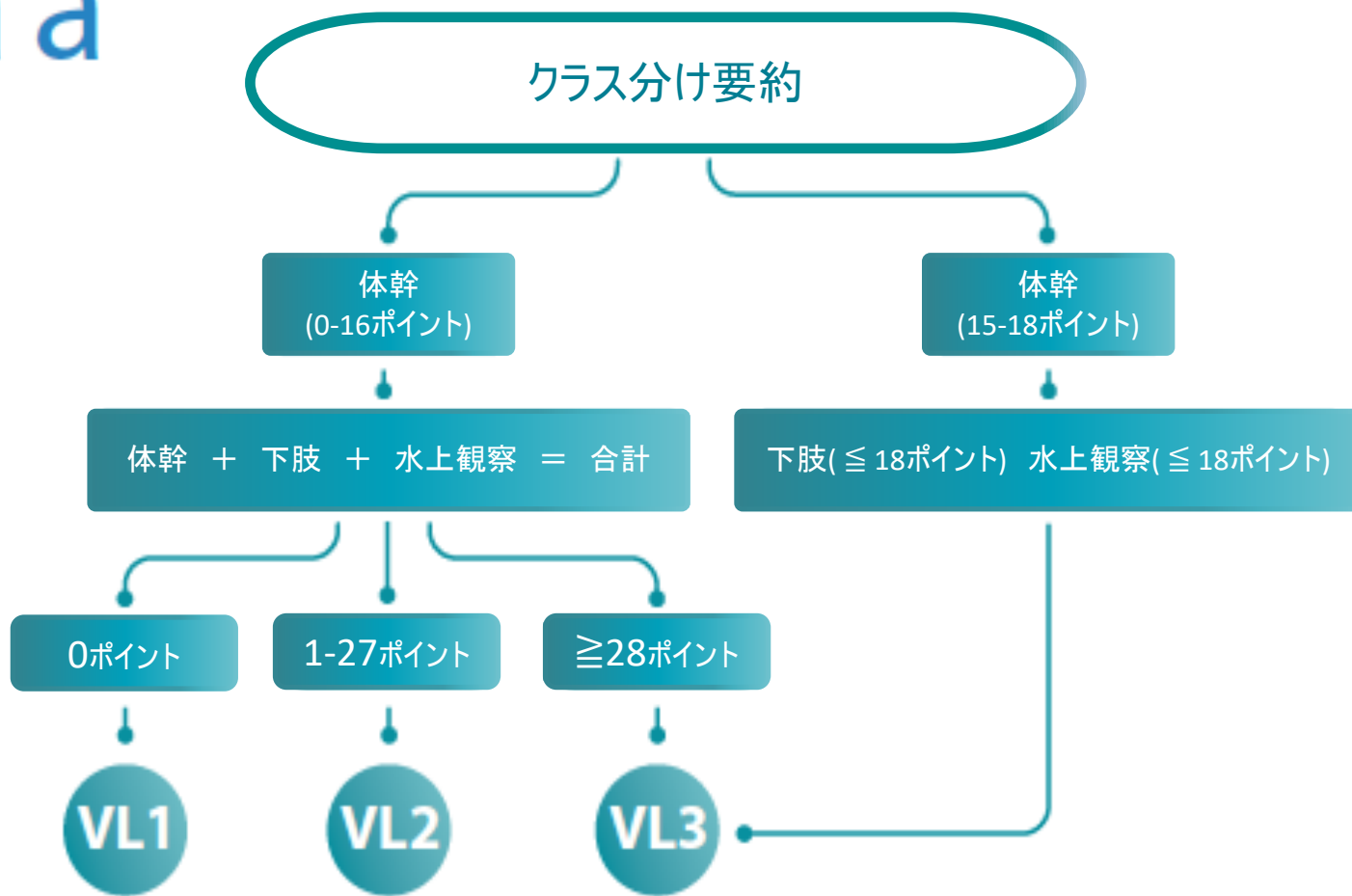


はいの場合、以下の選
択肢から一つ選択する

いいえの場合、選手は不適格
とし、クラス分けは終了

体幹、下肢、水上観察の3つのテストでスコアが確定したら、
下記の通りスコアを集計し、選手を一つのクラスに割り当てる

Va'a





全てのルールはここに

ICF Paracanoe Classification (ICFパラカヌークラス分け)
www.canoeicf.com/classification

IPC Classification (IPCクラス分け)
www.paralympic.org/classification

IPC International Standard for Classifier Personnel and Training
(IPCクラス分け委員の国際基準とトレーニング)





お疲れ様でした!!

mfatimafv12@gmail.com

International Canoe Federation -
PARACANOE